

## いのちの架け橋チャリティーフォーラム 2015

【タイトル】いのちの架け橋チャリティーフォーラム 2015

【開催目的】日本には移植医療でしか命を救うことができない人がたくさんいること、死後の臓器提供（いのちの贈り物）によって誰もが手をさしのべれば救えるいのちがあることを多くの市民に知って頂き、大切な人と、大切な人のために、いのちについて考える機会をもつていただくことを目的とした集会。

【内容】いのちは大切、いのちは地球より重いというけれど、その理由を問われたらちゃんと答えられる人はどれだけいるのでしょうか。招待講演として、学校教育の現場で実際に「いのちの授業」に取り組んでいるトキワ松学園の佐藤毅先生を招いて、学校教育の保健体育の授業において「いのちの授業」をカリキュラムとして取り組んでいる工夫や子どもたちの変化などについて学ぶ。

第一部 「生かされ活かす輝くいのち」移植体験者による座談会。脳死肝移植者、心臓移植者、膵腎同時移植者らを招いて体験談を語って頂き、移植でしか助からない命があること、誰もが死後の臓器提供という選択によって人の命を救うことができること、臓器移植における4つの権利（臓器をあげる、あげない、もらう、もらわない）についてなど、移植者と一般市民とが同じ目線でいのちについて自由に語りあう時間を創出する来場者参加型の集会。第二部は、ゴスペルコンサートを予定。30名のクワイヤとメインボーカルに鬼無宣寿氏を迎え、来場者とのワークショップを用意。いのちへの想い、考えは人様々。違いを受け止め互いを認め合える人であればだれでも参加可能。

【開催場所】早稲田奉仕園 スコットホール

【開催日時】平成27年1月31日（土）13：30～16：00

【入場料】 1,000円(小学生以下無料)

【定員】200名

【協賛】募集中